



ORCA PROJECT

紹介状作成プログラム FOR 地域医療連携

MI_CAN 操作マニュアル追加機能説明

ver2.1.6.3

令和2年5月22日

日本医師会 ORCA 管理機構

| | |
|---|---|
| MI_CAN ver2.1.6.3 更新箇所 | 2 |
| MI_CAN の追加機能 | 3 |
| 削除病名の非表示機能の追加 | 3 |
| 設定方法 | 3 |
| トレースログの出力機能を追加 | 4 |
| 設定方法 | 4 |
| 対象期間内に診療行為の存在する患者のみ出力を追加 | 5 |
| 設定方法 | 5 |
| MI_CAN の不具合修正 | 6 |
| 令和2年度4月以降のレセプトフォーマットの取込に対応していなかった問題点を修正 | 6 |
| 患者情報編集画面で不要なメッセージが出力されていた点を修正 | 6 |

MI_CAN ver2.1.6.3 の更新箇所について説明します。

本バージョンでは、MI_CAN の機能追加の他、仕様変更及び不具合の修正が行われています。なお、従来の機能に関する操作については、「MI_CAN 操作マニュアル(詳細版)」を参照してください。

【追加された主な機能】

| 項目 | No | 追加機能 | 説明 |
|-----------------|----|--------------------------|--------------------------------------|
| MI_CAN | 1 | 削除病名の非表示機能の追加 | 削除病名の表示・非表示の選択を追加 (DB 直接接続のみ) |
| MI_CAN_TERMINAL | 1 | トレースログの出力機能を追加 | トレースログの出力機能を追加 |
| | 2 | 対象期間内に診療行為の存在する患者のみ出力を追加 | 出力対象の選択肢に「対象期間中に診療行為が存在する患者のみ」の項目を追加 |

【不具合修正】

| 項目 | No | 不具合修正 | 説明 |
|--------|----|---|--|
| MI_CAN | 1 | 令和2年度4月以降のレセプトフォーマットの取込に対応していなかった問題点を修正 | 令和2年度4月以降のレセプトファイルで年月日が西暦に変更された点に対応 |
| | 2 | 患者情報編集画面で不要なメッセージが出力されていた点を修正 | 患者情報編集画面で「ORCA から最新データ取得」を実行した際に不要なメッセージが表示されていたため修正 |

MI_CAN の追加機能

MI_CAN ver2.1.6.3 で追加された機能を説明します。

削除病名の非表示機能の追加

DB 直接接続時に病名情報を取得した際に、現状では ORCA で削除した病名も取得しますが、それを表示するかしないかの設定を追加しました。デフォルトでは「表示する」です。

また、削除病名を表示するとした場合、リスト上では背景色を薄赤色で表示するようにしました。

設定方法

削除病名の非表示の設定は、〔MI_CAN (メインメニュー)〕のシステム設定から「ORCA 接続設定」画面を呼び出すことでおこなえます。

削除病名を表示しない場合はチェックを外してください。

The screenshot shows the 'ORCA接続設定' (ORCA Connection Settings) dialog box. It has a blue title bar and a yellow background. The settings are as follows:

- ORCA連携をおこなう
 - DBに直接接続 APIを使用して接続
- 接続先IPアドレス: *****
- ポート番号: *****
- DBユーザ名: *****
- DBユーザパスワード: *****
- DB名: *****
- DB文字コード: UTF-8 (dropdown menu)
- 削除病名も表示 (DB直接接続時のみ) (highlighted with a red box)
- 接続テスト (button)
- データ取得範囲
 - 短期間: 2 (dropdown) カ月 (1 ~ 6)
 - 長期間: 15 (dropdown) カ月 (6 ~ 60)
- ORCA連携時にトレースログの出力をおこなう
- OK (button)
- キャンセル (button)

トレースログの出力機能を追加

MI_CAN_TERMINAL で SS-MIX ファイル作成時にトレースログを出力する機能を追加しました。

設定方法

MI_CAN_TERMINAL のメニューから「動作設定」画面を呼び出すことでおこなえます。

トレースログを出力したい場合はチェックを付けてください。トレースログは MICAN_DATA フォルダ内の log フォルダに出力されます。(ファイル名「Terminal_TraceLog_XX.log」(XX は日付))

動作設定

データ出力設定

出力形式 JAHIS準拠 SS-MIX2 Ver1.2準拠
 HumanBridge準拠 ID-Link準拠

出力対象

| | |
|------------|---------|
| 患者基本情報 | ADT-00 |
| アレルギー等 | ADT-61 |
| 病名(連携コメント) | PPR-01 |
| 処方オーダー | OMP-01 |
| 処方実施通知 | OMP-11 |
| 注射オーダー | OMP-02 |
| 注射実施通知 | OMP-12 |
| 検体検査オーダー | OML-01 |
| 検体検査結果通知 | OML-11 |
| 入院実施通知 | ADT-22 |
| 退院実施通知 | ADT-52 |
| 紹介状/診断書/画像 | PDF/JPG |

PDF文書フォルダ 参照

エンコード種別 Shift-JIS UTF-8 BOM有 JIS

改行コード CR LF CR+LF

メッセージ区切り文字<FS><CR>を出力
 アレルギーを薬剤アレルギーとして出力する

データ出力先フォルダ設定

出力先フォルダ 参照

年月日(YYYYMMDD)のサブフォルダを作成
 SS-MIX2準拠のフォルダ構成でフォルダ作成
 トランザクションストレージファイルおよびフォルダ作成
※このオプションを選択した場合、SS-MIXおよびトランザクションストレージファイルは、出力先フォルダの「SS-MIX2データ」、「トランザクションデータ」フォルダに出力されます。

自動出力設定

一定間隔で出力
出力間隔(1分~3600分) 分

指定時間に出力
時間指定(3つまで)

設定1 :

設定2 :

設定3 :

起動時に自動出力を開始する

患者番号ゼロ処理

患者番号のゼロ処理をおこなう

患者番号桁数 桁

患者番号が指定桁未満の場合に付加する文字

ゼロ ハイフン スペース その他

付加する位置

前に付加 後ろに付加

トレースログを出力

OK キャンセル

対象期間内に診療行為の存在する患者のみ出力を追加

MI_CAN_TERMINAL で対象患者の選択条件に「対象期間内に診療が存在する患者のみ」の選択肢を追加しました。

対象期間で設定した日付の範囲内に診療行為が存在する患者だけをデータ出力対象患者と見なします。

※日付範囲内の存在チェックは診療行為のみとし、病名や検査結果、入退院等は判定しませんのでご注意ください。

※同意有無等は判定しませんのでご注意ください。

設定方法

MI_CAN_TERMINAL の起動直後の出力条件から選択してください。

MI_CAN の不具合修正

MI_CAN ver2.1.6.3 で修正した不具合項目を説明します。

令和 2 年度 4 月以降のレセプトフォーマットの取込に対応していなかった問題点を修正

年月日が西暦で記述されている、令和 2 年度 4 月以降のレセプトフォーマットの取込でエラーが出力されていた点を修正し、西暦での取込に対応しました。

従来のレセプトフォーマット(年月日が和暦で記述)にも対応しております。

患者情報編集画面で不要なメッセージが出力されていた点を修正

患者情報画面で「ORCA から最新データ取得」を実行した際に、デバッグ用の不要なメッセージが表示されていたため、表示しないように修正致しました。

※本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本文中および図中では、TM、Rなどのマークを記載していない場合があります。

日本医師会ORCA管理機構

〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-1-21 コロナ社第3ビル 6F